

平成28年9月26日

廃棄物処理施設技術管理協会々員並びに東京都地区協会々員各位

東京都廃棄物処理施設技術管理協会
会長 関 壽 彰



平成28年度東京都廃棄物処理施設技術管理協会施設見学会のご案内について

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、当東京都廃棄物処理施設技術管理協会の事業推進につきまして、平素よりご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当東京都地区協会の平成28年度施設見学会の開催について、下記のとおりご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成28年11月16日(水) 午前8時50分集合、出発
2. 集合場所 新宿駅西口 スパルビル前(停車中の貸切大型バス)
3. 視察場所 ① 神奈川県平塚市大神3230番地
平塚市環境事業センター
② 神奈川県秦野市曾屋4624番地
秦野市伊勢原市環境衛生組合(はだのクリーンセンター)
詳細につきましては、別紙の施設概要をご参照ください。
4. 参加費 個人会員又は団体会員(5名まで) 無料
一般参加者 3,000円
5. 行程等 午前8時50分 新宿駅西口スパルビル前に集合後、出発
午前10時20分 神奈川県平塚市・平塚市環境事業センター到着
施設見学(約1時間20分)
午前11時50分 平塚市環境事業センター出発(途中昼食休憩)
午後1時30分 神奈川県秦野市・秦野市伊勢原市環境衛生組合到着
施設見学(約1時間20分)
午後3時00分 秦野市伊勢原市環境衛生組合出発
午後5時00分 新宿駅西口スパルビル前 到着、解散
6. 連絡方法 参加又は不参加の連絡を11月2日(水)までに別紙にてご送信下さい。
7. 送信先 東京都廃棄物処理施設技術管理協会事務局
パシフィックコンサルタンツ(株)環境創造事業本部
資源循環マネジメント部環境FLESS室 坂田宛
FAX: 03-3296-0520 電話: 03-6777-1643
8. 問合せ先 担当: 松木 (携帯 090-4719-0753)

パシフィックコンサルタンツ（株）資源循環マネジメント部環境 FLESS 室 坂田宛
FAX:03-3296-0520

平成 28 年 月 日

平成 28 年度東京都廃棄物処理施設技術管理協会施設見学会(参加・不参加)連絡書		
ふりがな 氏 名	電話番号 勤) 自)	FAX 番号 勤) 自)
勤 務 先 団 体 名		
所 属 部 所		
連 絡 先 住 所	(自 宅 ・ 勤 務 先) 〒 ー	
該 当 項 目 に ○ を 付 け て く だ さ い。	1 地区協個人会員 2 地区協団体会員 3 非会員 4 新規会員 (入会希望者)	
備 考		

- 参加・不参加の連絡は、11月2日（水）までにFAXをお願いします。
※名簿作成のため、必ずご連絡をお願いします。

- FAX 申込先 パシフィックコンサルタンツ（株）環境創造事業本部
資源循環マネジメント部 環境 FLESS 室
（東京都廃棄物処理施設技術管理協会事務局担当 坂田）
勤務先のため、FAX が混み合うことがありますので、ご注意ください。

- 見学会に関するご質問等は、担当の松木（携帯：090-4719-0753）までご連絡ください。

貢献する施設です。



施設の特長

環境保全に万全を期した施設

実績の豊富な焼却炉を導入するとともに、ダイオキシン類の排出抑制のため、集じん装置や触媒反応塔を設置しました。また、その他の公害防止に係る計画目標値についても、関係法令、施設の立地条件、公害防止技術等を十分考慮して設定しました。

低炭素社会実現への貢献

高効率な廃棄物発電機能を確保することにより CO₂ 排出量の削減に努めます。また、発電以外の余熱についても、可能な限り有効利用することによって CO₂ 排出量の抑制を目指します。

焼却残渣の有効利用・最終処分量の低減

焼却後に排出される残渣は全て熔融スラグ等へ資源リサイクルを行うことで、最終処分場の埋立量を低減します。

周辺環境・周辺地域への配慮

工場棟と管理棟を一体の焼却施設として建屋のコンパクト化を行い、可能な限り空地を設け、敷地周辺部の緑地化を図りました。また、建物の外壁には、周囲の自然の緑を引き立てるような色彩を採用しています。

施設概要

施設名称	環境事業センター	工場棟	地上6階、地下1階、
所在地	神奈川県平塚市大神 3230 番地		鉄骨造、鉄筋コンクリート造、
焼却方式	流動床式	煙突	鉄骨鉄筋コンクリート造
処理能力	315t/日(105t×3炉)		外筒/鉄筋コンクリート造
発電能力	5,900kW	工期	内筒/ステンレス製3筒
敷地面積	12,845.23m ²		高さ/80m
建築面積	5,455.53m ²	建設費	平成22年5月~平成25年9月
延べ床面積	10,245.76m ²		約114億円

設備概要

受入供給設備	ごみ計量機	入口 2基 出口 1基	余熱利用設備	蒸気タービン発電設備 (5,900kw)	1式
	ごみ投入扉	5基		場内外余熱利用設備	1式
	ダンピングボックス	2基	通風設備	押込送風機	3基
	可燃性粗大ごみ破砕機	1基		二次送風機	3基
	ごみ破砕機	2基	灰出し設備	誘引通風機	3基
	ごみピット・破砕ごみピット (5,900m ³)	1式		灰加湿設備 (灰を加湿後、場外熔融処理)	1基
燃焼設備	ごみクレーン	2基	給水設備	井水給水設備(プラント用水)	1式
	給じん装置	3基		上水給水設備(生活用水)	1式
	旋回流型流動床式焼却炉	3基	排水処理設備	プラント排水処理設備	1式
	磁選機	1基		(処理水は場内再利用)	
アルミ選別機	1基		※洗車排水・生活排水は下水道放流		
燃焼ガス冷却設備	ボイラ(自然循環式)	3基	電気設備	特高受変電設備	1式
	減温塔	3基		非常用発電機	1式
排ガス処理設備	消石灰噴霧設備	1式			
	集じん装置	3基			
	アンモニア水噴霧設備	1式			
	触媒反応塔	3基			



主な設備



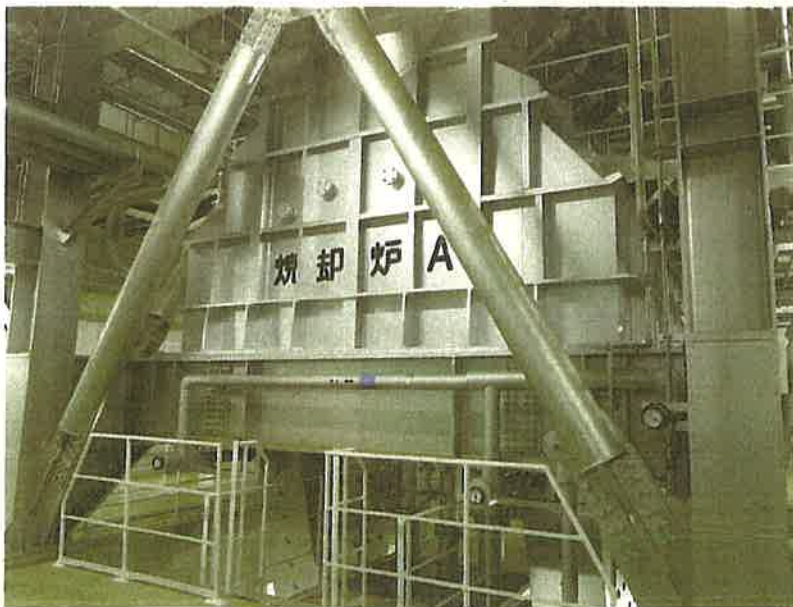
プラットフォーム

ごみ収集車で集められたごみは、プラットフォームからごみピットに投入されます。



ごみピット・ごみクレーン

ごみピットに貯められたごみは攪拌された後、ごみクレーンにてごみ投入ホッパへ投入されます。



旋回流型流動床式焼却炉

流動床式焼却炉では、炉の中で砂を流動させることによって、ごみを攪拌し、ムラのない、効率的な燃焼を行います。



ボイラ

焼却炉から送られてきた排ガスを利用して蒸気をつくります。また、排ガスの冷却も行います。



蒸気タービン・発電機

ごみを燃やした熱で発生した蒸気を利用して、蒸気タービンを回し、最大5,900kWの電力を発生させます。



集じん装置

排ガスの中に含まれる有害な成分を取り除き、クリーンな状態にします。



中央制御室

施設全体の運転状況を集中監視および制御しています。各設備はコンピュータシステムにより自動運転されています。

